

伯耆文化研究会 1月例会

◆日時:令和 8年1月10日(土)

どなたでも
聴講して
いただけます

午後1時30分から3時30分まで

◆会場:米子市立図書館 2階研修室



「幻の米子城遠景写真」

①「昭和17年版『米子市史』掲載写真の再発見」

発表者:佐伯 純也さん (米子市埋蔵文化財調査室次長)

かつて米子市日野町で『タムラ写真館』を経営されていた干村廣三郎氏が撮影した貴重なガラス乾板の中から、昭和17年刊行の『米子市史』に掲載された写真を中心に紹介。

②「伯耆人の誇り —伯耆安綱と童子切—」

発表者:八尾 正己さん (やお歯科クリニック院長)

伯耆安綱は天下五剣の一つに数えられる最高の日本刀と称される国宝「童子切」の作者。安綱の足跡を追って伯耆の誇りを後世に伝えるべく執筆。多くの人が安綱について語り継ぐことを願う。



『刀匠伯耆安綱と童子切』

例会はどなたでも聴講できますが、会員外の方は資料代200円が必要。

●伯耆文化研究会は会員を募集しています。詳しくは事務局まで●

